

① オフサイトセンター参集・運営訓練



川内原子力規制事務所、県、薩摩川内市等要員によるオフサイトセンターの立ち上げ手順を確認しました。

また、オフサイトセンターが使用不能な状態に至ったとの想定で、代替オフサイトセンター(消防学校)が要員の受入準備を実施しました。その他、商用電源が長期間供給されないことを想定し、非常用発電機に燃料を供給する訓練を実施しました。

◀ 川内オフサイトセンター

② 避難・避難誘導・屋内退避訓練



大規模地震による建物の倒壊等により、自宅等での屋内退避ができないことを想定して、近隣の避難所での屋内退避訓練を実施しました。

また、離島住民の本土への搬送訓練や、大隅地域の受入市町への住民避難訓練を実施しました。

◀ 長島町住民の海上自衛隊船舶避難

③ 避難所設置等の訓練



避難所開設から住民の受入について、避難元と避難先の自治体との手順等を確認しました。

また、原子力防災に関する基礎知識や、災害時の心構えなどに関する防災講習会を、受入市町住民に対しても実施しました。

◀ 避難所受付(横川健康温泉センター)

④ 避難退域時検査・原子力災害医療措置訓練



車いす利用者、複数汚染箇所を想定した検査や、安定ヨウ素剤の住民への配布手順の周知、一時集合場所での配布を実施しました。

また、簡易除染で除染できなかった場合の拡散防止処置訓練も実施しました。

◀ 避難退域時検査場所(宮之城運動公園)

⑤ 自衛隊など実動機関との連携



地震による倒木等により通行不能となった道路被害状況をドローンにより映像伝送するとともに、自衛隊による避難経路の道路啓開訓練を実施しました。

◀ 道路啓開後の住民搬送(薩摩川内市寄田地区コミュニティセンター)

⑥ タクシー協会による緊急輸送訓練

福祉タクシーによる住民搬送を行いました。

▼ 福祉タクシーによる住民搬送



■ 県原子力専門委員会の委員からの主な意見

- 原子力災害が発生したときに正しい行動ができることが大事なので、訓練を繰り返し行っていく必要がある。
- 複合災害の場合、避難所の電源など電気に関連した問題が発生するので、訓練の中に盛り込む必要があるのではないか。



消防学校での代替オフサイトセンター立ち上げ訓練視察(日置市)

■ 第三者機関からの主な意見

- 計画どおり活動ができていた。
- 避難住民が多い場合の対応の検討が必要。
- 避難所での案内表示が少ない。

■ 三反園知事のコメント

- 原子力防災については、県民の安心・安全を確保する観点から、福祉車両の追加配備や避難道路の改善など充実・強化に取り組んでいます。
- 原子力防災訓練については、毎回、新たな取組を加えるなど拡充を図っており、今後も多くの住民の皆様に参加していただけるよう、引き続き充実に努めてまいります。